※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ４０２ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | (学)世界史特講 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 詳説世界史 10 分間テスト | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文化史や戦後史などの主題学習を通して、世界史探求で扱う内容をさらに深めた学習を行います。また、問題演習などにも取り組みます。

定期テストは行いません。授業で行う小テストの点数などをもとに、成績を算出します。

日々の積み重ねが入試の結果につながります。1 回 1 回の授業を集中して受け、小テストに丁寧に取り組めば、基礎力は定着します。あとは様々な形式の問題に触れて、実践力をつけましょう。

2　学習の到達目標

・世界史の歴史事項や歴史的経緯に関する理解を深め、資史料等を用いながら正確に情報をまとめる力を身につける。

・歴史事項を縦断的・横断的に俯瞰し、それらの事象の成因や結果、意味や意義について、科学的に考察する力を身につける。

・様々な歴史事項と現在の世界との関連を発見し、過去の歴史から学んで、現代の社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○世界史の歴史事項や歴史的経緯に関する知識を身に付け、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。<br><br>○世界史の歴史事項や歴史的経緯に関する史・資料を収集し，有用な情報を適切に選択し、まとめることができる。 | ○歴史事項を縦断的・横断的に俯瞰し，歴史的視野に立って、社会を多面的・多角的に考察する。<br><br>○諸課題について，様々な歴史事項と現在の世界を関連付けながら，国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的に判断し、表現できる。 | ○世界史の歴史事項や歴史的経緯に対する関心を高め，歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究する。<br><br>○過去の歴史から学んで、現代の社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付ける。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 地域史 | ・ヨーロッパ地域史（冷戦～現代）<br>・南北アメリカ地域史（冷戦～現代）<br>・東アジア地域史（冷戦～現代） | a：各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について理解している。<br>b：各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |
| | 古代西欧文化史 | ・古代ギリシャ文化<br>・ヘレニズム文化<br>・古代ローマ文化 | a：欧米文化の源流となる芸術作品、思想、建築物について、その特徴を理解している。<br>b：欧米文化の源流となる芸術作品、思想、建築物について、その意義を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：欧米文化の源流となる芸術作品、思想、建築物について、課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |
| | 古代アジア文化史 | ・古代インド文化<br>・古代中国文化 | a：アジアに広く影響を与えた芸術作品、思想、建築物について、その特徴を理解している。<br>b：アジアに広く影響を与えた芸術作品、思想、建築物について、その意義を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：アジアに広く影響を与えた芸術作品、思想、建築物について、課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |
| | 中世文化史 | ・中世中国文化<br>・イスラーム文化<br>・中世ヨーロッパ文化 | a：中世に生まれた芸術作品、思想、建築物について、その特徴を理解している。<br>b：中世に生まれた芸術作品、思想、建築物について、その意義を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：中世に生まれた芸術作品、思想、建築物について、課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 地域史 | ・東南アジア地域史(冷戦～現代)<br>・西アジア地域史(冷戦～現代) | a:各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について理解している。<br>b:各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:各地域の動きを軸とした視点で、冷戦以降の世界の変化について課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |
| | 近世以降文化史 | ・ルネサンス文化<br>・17,18 世紀の欧米文化<br>・19 世紀の欧米文化<br>・20 世紀の欧米文化 | a:近世以降に生まれた芸術作品、思想、建築物について、その特徴を理解している。<br>b:近世以降に生まれた芸術作品、思想、建築物について、その意義を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:近世以降に生まれた芸術作品、思想、建築物について、課題を主体的に追究しようとしている。 | 小テスト等 | レポート等 | レポート等 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度